

第1じょうせつてんじ室に、
たて物のもけいがあるよ!



<たて物>

- レンガ・コンクリート(すな・石をセメントでかためたもの)で、できている。
- 右と左が同じ形
- 「さいばん所」として、1922年にできた。
- 国のじゅうよう文化ざい
→大切にすゝる気持ちで見学しよう。



夜はライトアップ
されているよ!



メモ

げんかいぎしつ
<ふく原会議室>

- じゅうたん
→1はり1はり、手ぬいでつくってあるよ。
- 「いす」と「つくえ」をふく原(昔のようすにもどすこと)
→かべにはってあるかべ紙、天じょうも

メモ

歩くと
7か7か!



<第3じょうせつてんじ室>

- 外国のたて物の形が、取り入れられるようになった。
- 大正時代から昭和時代になると、レンガづくりのほかに鉄こつ、鉄きんコンクリートづくりのたて物がふえてきた。

<第6じょうせつてんじ室>

- せんそうでやけたまちを、つくりなおす。
- ・「昭和12年のまちなみ」と「平成元年・19年のまちなみ」
→ちがうところは?

<中央階だん室>

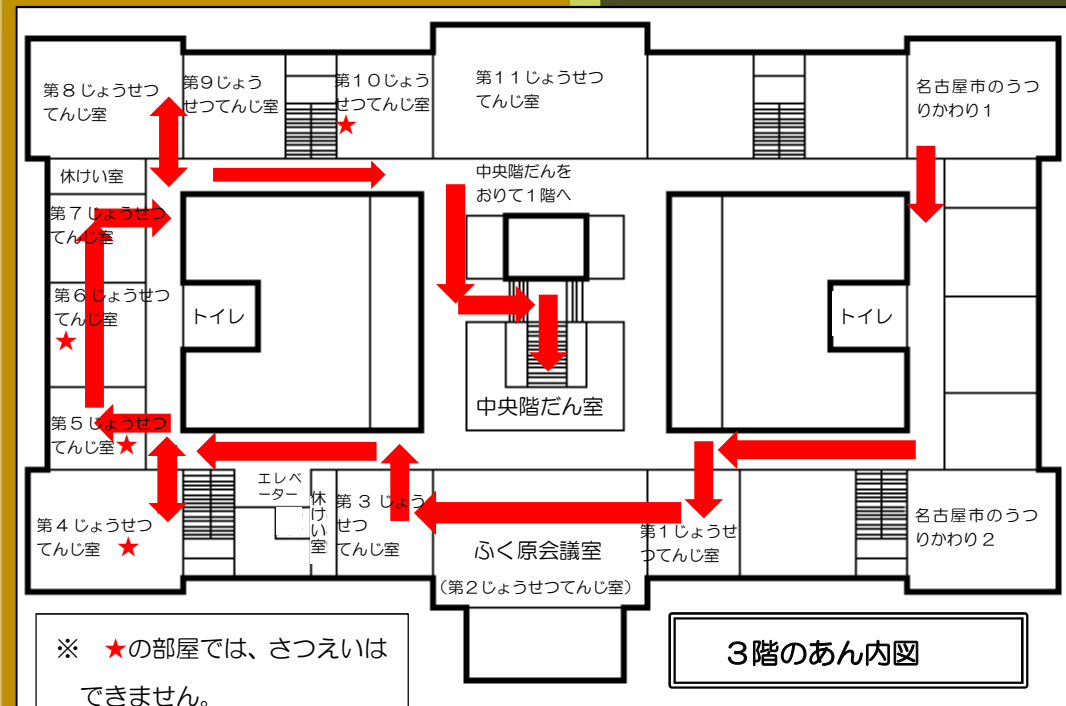
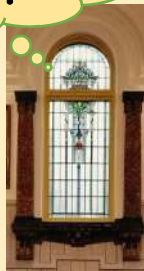


- だいいせき
○大理石でできた手すり
→貝の化石もあるよ。
- ステンドグラス
(きれいなもようや、絵がえがかれた色つきガラス)

何が、えがかれて
いるのかな?

メモ

- 音がひびくのでコンサートなどもやるよ。
→手をたたいてみよう。



<第4じょうせつてんじ室>

- 1889年に名古屋市たんじょう
- まわりの町や村をくっつけて、大きくなってきた。

メモ



<第5じょうせつてんじ室>

- 名古屋は、さん業の発てんとともに大きくなった。
- めいじ
明治のはじめのころは、ちょうちん・せんす・組ひもなど、手で作るさん業がさかえた。
- そのあと外国のぎじゅつが伝えられ、大きなきかいを使ったさん業(糸をつくる、ぬのをおる)が、発てんした。
- マッチ・セメントをつくる→自動車づくりなどがさかんに

メモ

<第7じょうせつてんじ室>

- 6つの「姉妹友こう都市」
- ・きゅう食の「姉妹友こう都市メニュー」を、思い出そう。

<第8・第9じょうせつてんじ室>

- めいじ
○明治のころの(第8) → <だんの上> けんさつかん さいばんかん
<だんの下> ひこく人 べんご人
- 今のほうてい(第9) → <だんの上> さいばんかん
<だんの下> けんさつかん ひこく人 べんご人

この写真のほうていは、
明治のころ? 今?



<りゅうち場(1階)>

- 昔、さいばんを受ける人が入ったとされる場所
- ・ざっきょぼう(たくさんの人が入る部屋)
- ・どくぼう(一人部屋)
- 中から開かないドア

何でかな?



どくぼう



ざっきょぼう

メモ